

令和2年度 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校（附属中） 【自己評価表】

≪ 4段階評価 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する ≫

教育目標 1 知徳体の調和のとれた人材の育成を目指す。 2 校訓を具現化し、21世紀を担う人材の育成を目指す。										
重点目標	評価項目	計画（PLAN）		実践（DO）	評価（CHECK）		改善（ACTION）		学校関係者評価委員	
		重点努力目標（評価指標）	数値目標	方策・手立て	学校自己評価	総合	結果の考察・改善		評価	評価コメント (評価できる点、改善してほしい点)
規 律 あ る 行 動 と 学 習 習 慣 の 定 着	附中①	① 生徒一人一人の学力を最大限に伸ばし、進路実現を図る。 ② キャリア教育を充実させる。 ③ 学習習慣を確立させる。 ④ 学力に応じた個別指導、補充指導を充実させる。 ⑤ 読書活動を推進する。 ⑥ 学力検討会を充実させる。 ⑦ 生徒の探究力を育成する。	① 全ての教師が年間をとおして2回以上、研究授業を行う。 ② 大学探訪（2年生2回）、企業探訪（2年生1回）、職場体験学習を実施する。 ③ 週あたりの宅習時間を1、2年1080分以上、3年1200分以上（部活動引退後1500分以上）にする。 ④ SETの時間を週あたり1時間確保する。 ⑤ 生徒全員が1ヶ月あたり5冊以上読む。 ⑥ テストごとに学力検討会を実施する。 ⑦ 自然科学探究を充実させ、校外のコンクールなどに出席する。	① 研究授業では、指導主事による指導助言を受ける場を設定する。 ② 総合的な学習の時間（キャリア探究）を充実させる。 ③ 家庭学習の習慣化を図るために、定期的に宅習時間調査を実施し、意識の高揚を図る。 ④ 諸検査の結果分析を行い、個別指導の充実を図る。 ⑤ 思索の時間（朝の読書）の在り方を工夫する。 ⑥ より具体的に焦点化が図られた内容とする。 ⑦ 夏休み終盤を締切とし、コンクールに出せるように支援する。	3.2	3.3	① 指導主事に授業参観を依頼し、良い評価を受けることが多かったが、現状に満足せず、授業づくりに努める。 ② コロナ禍において、多くの体験が中止・延期となったが、生徒が満足できるよう代替体験を企画し対応した。 ③ 宅習時間調査を定期的実施することで生徒の意識付けができ、目標の週あたり平均20時間以上の取組が多くみられた。 ④ SETの時間を活用し、個別指導を行うことができたが、今後も時間を確保し対応したい。 ⑤ 思索の時間は確保することで、日常的に読書に親しむ生徒が見られる。 ⑥ テストの内容をとおして、日々の学びの見届け・確認を行い、授業の在り方のさらなる工夫に繋げたい。 ⑦ 振り返りを行い、次年度に生かす。	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、学外学習の機会が計画通り達成できなかったのは仕方がないが、学力に応じた個別指導や読書、思索の時間が確保されたのは評価できる。 ・コロナ禍で代替体験の企画で苦勞されながらキャリア教育の充実が図られ、よく工夫されている。 ・学力向上に対する意識が高まる工夫がよくなされている。 ・個別指導、読書の時間について評価できる。 ・学力検討会について、継続し改善、工夫を続けて欲しい。 ・研究授業の内容について公表して欲しい。評価できない。 ・代替体験の企画、行動については評価するが内容がわかりづらい。 	
	附中②	① 職員の共通理解と共通実践を図る。 ② 挨拶を励行し規律を守る、素直で、さわやかな生徒を育てる。 ③ 自主性・積極性のある生徒を育てる。 ④ 環境美化意識の高揚を図る。 ⑤ 道徳教育、人権教育、特別支援教育、教育相談を充実させる。	① 中学校企画会で月に2回以上生徒の情報交換を行う。 ② 生徒全員が気持ちのよいあいさつができるようにする。 ③ 生徒企画の清泉会集会を学期に1回以上実施する。 ④ 学期1回、清掃徹底週間を設定する。 ⑤ 道徳の時間を年間35時間確保する。教育相談は学期に1回全生徒対象で実施する。	① 効果的な指導が行えるよう、組織で対応できるようにする。 ② マナー向上を図ることができるよう、外部から講師を招くなど工夫する。 ③ 生徒会（清泉会）活動として、生徒の自主性や主体性が育つよう工夫する。 ④ 清掃徹底週間を設定し、清掃に対する意識を高める。 ⑤ 道徳指導の充実を図る。また、教育相談も充実させ、生徒一人ひとりの理解を深める。	3.3	3.3	① 中学校企画会の充実を図ることで、職員の共通理解が深まり、組織で対応することができた。 ② 講師を招いてのマナー指導は、行うことができなかったが、清泉会が中心となり、あいさつ運動等を展開した。 ③ 清泉会集会に限らず、朝の会や帰りの会の時間を活用した、生徒の主体的な活動が多く見られた。 ④ 概ね良好である。清掃については、今後も定期的に考える時間を確保していきたい。 ⑤ 各学年で行事等の実施時期を考え、工夫して計画的に授業を行うことができた。	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・すべて評価できる。継続して欲しい。 ・企画会の実施により、生徒理解にしっかり取り組んでいる。 ・自主性を身につける指導がきちんとしている。 ・生徒会の自主的活動、特にあいさつは社会活動で重要であり評価できる。 	
	附中③	① 学校行事へ積極的に参加させる。 ② 生徒会活動を活性化させる。 ③ 部活動を充実させる。	① 生徒全員が、一人一役で主体的に学校行事へ参加する。 ② 清泉会集会を学期1回以上開催する。 ③ 部活動加入率を90パーセント以上にする。	① 行事の目的を生徒に理解させ、事前指導・事後指導を行う。 ② 話し合い活動の場を設定し、生徒自身に考えさせる。 ③ 部活動の意義を生徒に話し、加入を勧める。	3.3	3.3	① 感染症により、活動自体が自粛となる場合もあったが、可能な活動では、生徒の前向きな取り組みが見られた。 ② 感染症の影響で、話し合う時間を十分に確保ではなかったが、生徒は限られた時間内でよく取り組んだ。 ③ 部活動加入率は89%で、昨年より上がった。校外で活動している生徒もおり、それぞれが自分にあった形で活動を行っている。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に評価できる。 ・コロナ禍での部活動は不十分であったと思いますが、加入率が上がっていることは心身の成長につながり大変良い傾向と感じました。 ・生徒の主体的な活動を支援する手立てがとられている。 ・学校行事への積極的な参加や部活動加入などの働きかけは評価できる。 	
	附中④	① ホームページ、広報誌、パンフレット等を充実させる。 ② 学校説明会等の工夫・改善を図る。 ③ 積極的に小学校を訪問する。	① ホームページの内容を毎週チェックする。 ② 学校説明会の内容を参加者の90%以上がよいと答えるように充実を図る。 ③ 北諸県地区内のすべての小学校を訪問する。西諸県地区については、要望に応じて訪問する。	① 学校行事等を記録として残し、ホームページやパンフレットで活用を図る。 ② 生徒が主体となって行う、学校説明会の在り方を追求する。 ③ 訪問先を中学校職員で分担し、訪問を夏季休業中で調整する。	3.5	3.5	① ホームページ等の更新は、計画的に行うことができ、アクセス回数も大きく伸びた。 ② 学校説明会では、感染症対策を行い実施することができた。参加者からも好評であった。今年度はポスターを作成し、市内小学校を中心に配付した。 ③ 北諸県地区の全ての小学校、地区外から希望があった学校への訪問を行い本校について紹介を行った。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に評価できる。 ・HPが充実している。 ・ポスター作成が評価できる。 ・広報活動をより活発に行い、優れた生徒の入学をうながす努力が望まれる。 	